

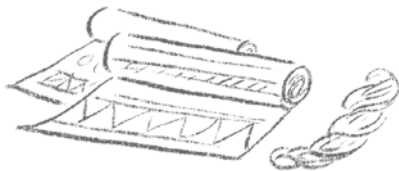


“あかり”が紡ぐ、 カンボジアの伝統と 働く女性たちの未来。



ソーラーランタンによる
女性の自立支援

ここは、電気の使えない家が多く残るカンボジア タケオ州の小さな村。
農業以外の仕事が少ないこの村では多くの女性たちが働き口に困っていました。
彼女たちが自立して働ける環境をつくるために、
2003年にNP0法人により設立されたのが「織物研修センター」。
カンボジア伝統の絹絵緋「ビダン」を織る技術を学べる場所です。
「ビダン」は完成度の高さによって売れる値段が変わるため、
技術が上達すればするほど、生活の糧になる収入を得ることができます。
センターで学べる限られた時間の中で、少しでも腕を上げるため
日が暮れた後も黙々と作業に励む彼女たち。
しかし夜のセンターは蛍光灯があるにも関わらず薄暗く、停電する日もあり、
細かい作業を要する「ビダン」を織るには手元の明るさが不十分でした。
そこでパナソニックは太陽光で発電・充電できる「ソーラーランタン」を寄贈。
手元を照らす光により、以前よりも効率的に作業ができるようになりました。
彼女たちはセンターを卒業した後も、習得した技術をもとに販路を広げ、
「ビダン」の織り手として生計を立てています。
パナソニックはこれからも、世界中のあかりが必要な地域に
ソーラーランタンを届ける活動を推進し、
くらしの中から、世界を変えていきます。



ソーラーランタン



ソーラーランタンの下で緻密な文様の「ビダン」を織る女性 【写真協力】 NP0法人 幼い難民を考える会

A Better Life, A Better World

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。